



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.183 2011.10.5

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

☎相談は
お気軽に **090-2156-3510**

十条駅前 超高層計画



146メートル 地上37階の再開発ビル

9月14日の地域開発特別委員会に、十条駅西口再開発計画案が示されました。のの山けん区議は、146メートル、37階という超高層マンション計画について、10月4日の決算特別委員会で区の見解を問いました。

今回の計画案は、十条駅西口地区市街地再開発準備組合がまとめたもので、十条駅前の噴水広場周辺約1・7畝について再開発をおこない、低層部に、にぎわい広場空間を設けた超高層マンションをつくるとしています。マンションには、もともと住んでいた地権者が入居するほか、約450戸を分譲マンションとして売り出す計画になっています。

「十条らしさ」を損なわない計画に

のの山区議は「低層の木造住宅が並ぶ下町らしい町並みに、この高さはあまりにも不釣り合い」とのべ、1棟の超高層が出現すれば、周辺に次々と高層が広がり、まちの様相も一変すると指摘しました。

また、分譲マンションの価格が、ファミリー向けなら4千万円ほどにもなり、高齢者や若者、学生などが街から排除される恐れがあると指摘。さらに、「参加組合員」として参入するディベロッパーが分譲マンションの販売によって巨額の

もうけを生み出した場合について言及し、「北区が投入したお金の結果として企業の利益を増やすだけとならないよう、注意が必要ではないか」と追及しました。区は、「計画の推移をみていく」などと答えました。

都区政報告のつどい



前都議会議員

そね
はじめ



区議会議員

のの山
けん

10月15日(土)

午後6時30分

赤羽会館

4階小ホール

放射線への対応、赤羽駅リニューアル計画、防災まちづくりなど身近な問題について報告します。

要援護者、どう守る？

第3回「災害対策のあり方検討会」開かれる

北区広報 発行・北区 編集・危機管理室防災課 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 ☎3908-8184 危機管理室防災課(直通) 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 http://www.city.kita.tokyo.lg.jp/

臨時特集号 平成23年(2011)9月30日

北区ニュース

東日本大震災を踏まえた今後の
災害対策のあり方検討会

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

区では、この震災を受け、震災対策及び都市型水害対策を見直し、今後の対策の進め方を決定するための検討会を設置しました。

この検討会は、学識経験者7名、区内関係団体代表者7名、区職員2名で構成し、8月から12月まで月1回のペースで開催します。

下記のテーマ及びその周辺課題について自由な議論を行い、年内を目途に「提言」をいただく予定です。

会議は公開していますので、ぜひ、足をお運びください。議事録は、適宜、北区ホームページにて公開して参ります。

主な検討テーマ

- 震災時の避難と避難所運営のあり方について
- 備蓄のあり方について
- 災害時要援護者支援のあり方について
- 防災教育のあり方・地域に根付いたネットワークのあり方について
- 都市型水害による被害と情報提供のあり方について

検討会スケジュール
 第3回：10月3日(月)午後6時～8時 / 北のあ7 階第一研修室
 第4回：10月25日(日)午前10時～正午 / 北区防災センター2階 大研修室
 第5回：11月16日(水)午後6時～8時 / 北のあ7 階第二研修室
 第6回：12月19日(月)午後6時～8時 / 北のあ7 階第二研修室

114-8790

北区王子本町一十五ノ二

北区役所
危機管理室 防災課
防災計画係 行

社会福祉法人北区
 王子生活センター
 5876
 京浜有明線
 平成23年12月
 31日まで

危機管理室防災課 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 ☎3908-8184

※現在北区では、災害対策のあり方について、区民アンケートを実施しています。詳しくは、9月30日付「北区ニュース」臨時特集号(写真)をご覧ください。

3日、第3回「東日本大震災を踏まえた災害対策のあり方検討会」が北とぴあで開催されました。

加藤孝明東大准教授がミニ講演

冒頭、加藤孝明東大准教授が「災害に強いまちをつくるには」のテーマでミニ講演。防災対策の基本は「自助・共助・公助」

とされているが、実際はお互いが対策を譲り合っているのではと指摘。自助、共助、公助の責任範囲を明確にすることが重要だと提起しました。

講演をうけて補足発言した大木聖子東大助教は、「最新の調査結果で、この30年のうちに首都圏を襲う大地震が起きる可能性が98%と出ました」とのべました。

災害時の弱者支援はどうあるべきか

続いて、災害時要援護者支援のあり方についてフリーディスカッション。「要援護者」の定義から登録方法、名簿の活用の仕方まで、さまざまな意見が出されました。

次回は10月25日午前10時より、北区防災センターで開かれます。



ふるさと北区区民まつり赤羽公園会場で

秋晴れの空、ふるさと北区 区民まつり

10月1日、2日の2日間、区内3会場を中心に、第28回ふるさと北区区民まつりが開かれました。

赤羽公園では、親子連れなどたくさんの方々が、模擬店のテントをめぐる、買い物を楽しんでいました。

北区区民まつりのマスコットキャラクター「きたちゃん」も、集まってきた子どもたちに愛嬌をふりまいていました。(のの山けん)